徳島県の地震

令和4(2022)年9月

目　次

◎徳島県の地震活動
震央分布図・断面図 …… 1
概況 …… 1
徳島県で震度１以上を観測した地震の表 …… 1
震度分布図 …… 1

◎地震メモ
11月２日(水)は緊急地震速報の訓練に参加しましょう！ …… 2～3

＊「徳島県の地震」は月 1 回発行し、徳島県及びその周辺の地震活動状況をお知らせするとともに、適宜、社会的に関心の高い地震について解説を行っています。また、「地震メモ」で地震防災等の知識普及に努め、皆様のお役に立てることを目的としています。

＊本資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。

＊本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

＊この資料に掲載した地図は、国土地理院の数値地図 25000（行政界・海岸線）を使用しています。

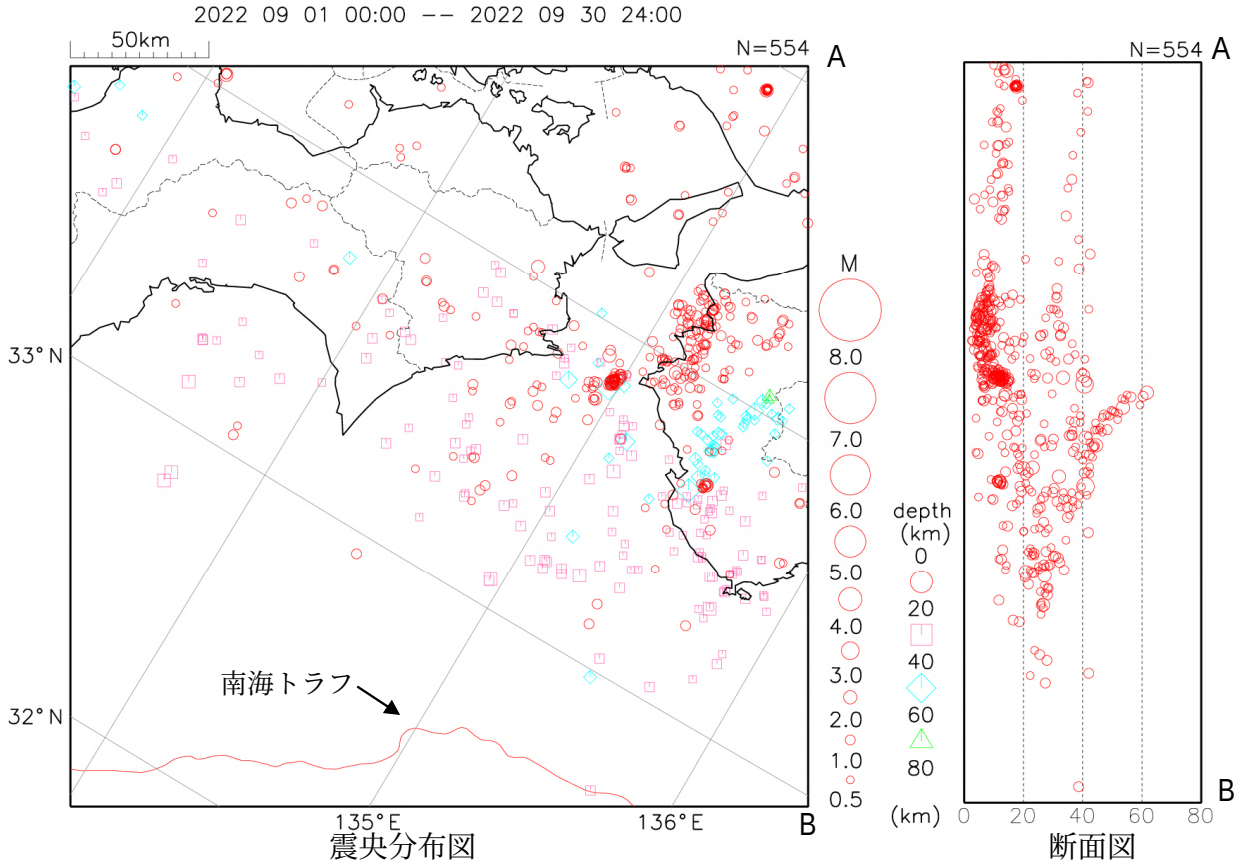
＊全国の地震火山活動概況、震源要素、震度データは気象庁ホームページに掲載しています。
https://www.jma.go.jp/jma/menu/bunyaeq.html

＊大阪管区気象台管内（近畿、中国、四国地方）の地震活動は、大阪管区気象台ホームページに掲載の「管内地震活動図」、「週間地震概況」をご覧ください。
hhttps://www.data.jma.go.jp/osaka/jishinkazan/kanindex.html

徳 島 地 方 気 象 台
(https://www.data.jma.go.jp/tokushima/)

徳島県の地震活動

震央分布図・断面図　2022 年 9 月 1 日～2022 年 9 月 30 日



- M0.5 以上の地震を表示。
- 図に表示する震源は、凡例のとおりシンボルの大きさでマグニチュード（M）の大小を、シンボルの形状と色で震源の深さ（depth）（震央分布図のみ）を区分。図に表示している地震の回数（N）は震央分布図と断面図の右上に表示。
- 図中のコメントは、徳島県で震度 1 以上を観測した地震の発生日時・マグニチュード（M）、最大震度（徳島県内の最大震度とは限りません）。

概況

2022 年 9 月に徳島県で震度 1 以上を観測した地震は 0 回でした（前月は 1 回）。

徳島県で震度１以上を観測した地震の表　　2022 年 9 月 1 日～2022 年 9 月 30 日

発震日（年月日時分） 各地の震度（徳島県内のみ掲載）	震央地名	緯　度	経　度	深さ	ﾏｸﾞﾆﾁｭｰﾄﾞ
震度 1 以上を観測した地震なし					

震度分布図（×印は震央）

震度 1 以上を観測した地震なし

【地震メモ】11 月 2 日(水)は緊急地震速報の訓練に参加しましょう！

緊急地震速報は見聞きしてから強い揺れに襲われるまでの時間がごくわずかであり、その短い間に、慌てずに身を守るなどの防災対応をとるためには日頃からの訓練を通して実際に行動をとり経験することが重要です。緊急地震速報を見聞きした際の行動を確認するため、内閣府、消防庁及び気象庁は、平成 20 年度より年 2 回、緊急地震速報の全国的な訓練を国の機関や地方公共団体のほか、学校、民間企業等や個人にも幅広く呼びかけて実施しています。

今年度 2 回目の訓練は、「津波防災の日」・「世界津波の日」地震・津波防災訓練として、以下の内容のとおり実施します。自分の命を守るために積極的にご参加ください。

●訓練実施日時

・令和 4 年 11 月 2 日(水) 10 時 00 分頃

国の機関や地方公共団体（J アラート経由)、民間の緊急地震速報を提供する配信事業者のうち、訓練への参加を計画している機関や団体に対して、訓練用の緊急地震速報を配信します。
※ 気象・地震活動の状況等によっては、訓練用の緊急地震速報の配信を急きょ中止する場合がありますので、ご了承ください。中止を決定した場合には、速やかに気象庁ホームページ等でお知らせします。

気象庁訓練特設ページ：https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/kunren/2022/02/kunren.html

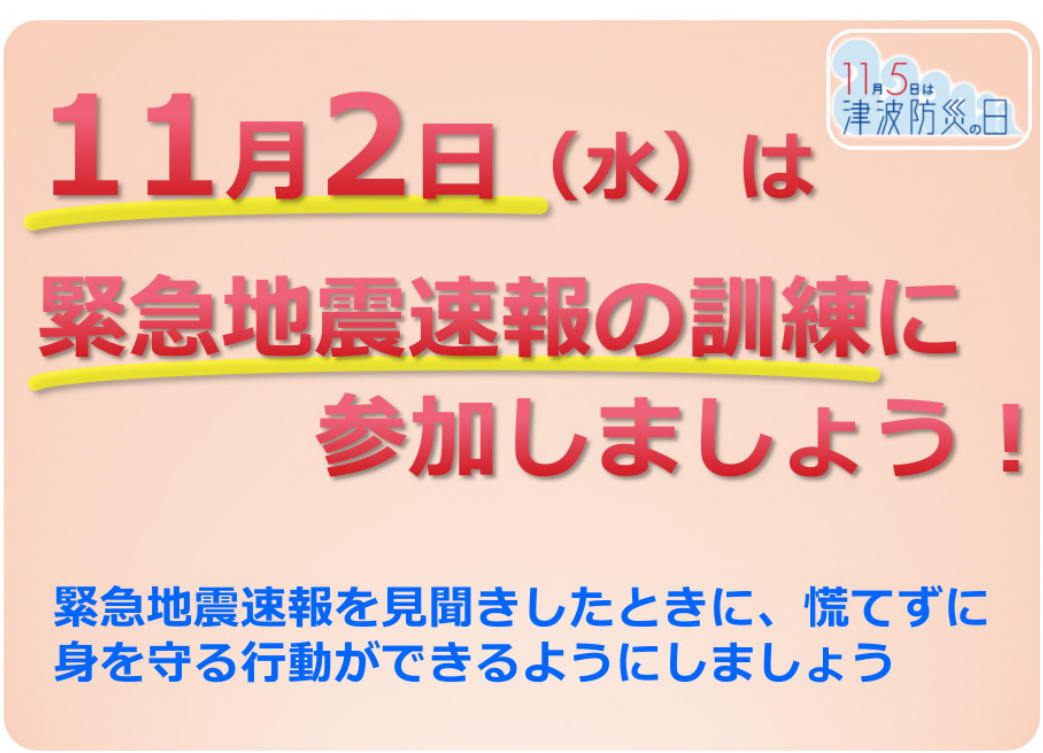
●訓練の参加方法

・お住まいの自治体の防災行政無線や商業施設などで訓練の緊急地震速報が放送される場合があります。放送が聞こえたら、身を守る行動をとりましょう。

・徳島県内ではテレビやラジオ、携帯電話（スマートフォンを含む）の緊急速報メール・エリアメールで訓練用の緊急地震速報の放送又は報知はありません(兵庫県ではエリアメールで訓練の配信があるため、兵庫県が発信したエリアメールを徳島県内でも受信することがあります)。徳島県内の一部のケーブルテレビ局・エフエムびざんで訓練放送があります。

・緊急地震速報を受信する端末をお持ちの方は、訓練用の緊急地震速報や受信端末に備わっている訓練機能を利用してみましょう

・携帯電話やスマートフォンのエリアメールでは訓練の配信はありませんが、気象庁ホームページで公開している訓練用動画や、スマートフォンの訓練用アプリを使ってみましょう。



●シェイクアウト訓練

最近では、「シェイクアウト訓練」という 2008 年にアメリカで始まった地震防災訓練も注目されています。これは、指定された日時に、地震から身を守るための３つの安全行動（①姿勢を低く、②頭を守って、③揺れが収まるまでじっとする）を各人がいる場所（職場、学校、外出先等）で約１分間行うというものです。緊急地震速報の報知音を合図に、このような訓練もやってみましょう。徳島県内では美馬市でシェイクアウト訓練が実施されます(美馬市で参加の方は 10 月 23 日までに事前登録をしてください https://www.city.mima.lg.jp/gyosei/docs/4215.html)。

●緊急地震速報を見聞きしたときは？

周囲の状況により具体的な行動は異なります。日頃からいざという時の行動を考えておきましょう。